

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	新型コロナウイルスやインフルエンザといった感染症の拡大に伴い安心安全な生活を提供できない時期があった。家族と会えず不安な日々であっただろうと推測する。5類となったことで世間では感染対策の緩和がみられるが、いろりでは引き続き感染者を出さないための環境作りの為に感染防止対策を徹底していく。	コロナ禍以前のような地域とのふれあいや家族との繋がりのある暮らしが出来る。	・感染予防対策委員会が中心となって基本的な感染予防に取り組む。 ・火災避難訓練同様に感染症対策についても2か月に1度シミュレーションを行い振り返りを行う。 ・法人内学習会の参加、外部研修への参加に加え感染対策委員会の会議内容を共有し学ぶ機会とする。	12ヶ月
2	40	利用者一人ひとりの思いを聴き、その思いに沿った関わりが出来ているか。またそれらを自己のみで完結せず職員間で共有出来ているかを振り返り、事故の無い安心して暮らせる環境作りに努める。	利用者との会話や行動から思いや希望を知る、もしくは察することができた際には記録に残すとともに会話にて情報を共有し、安心安全な環境で暮らせる。	・普段から利用者の何気ない日常の姿にも興味や関心を持って関わる。 ・環境の変化や行事ごとなどいつもと違う生活があったときは特に注意して関わる。 ・申し送りミーティングの時間だけに頼らず、通常から職員個々が書く読む伝える聴く事に努める。	12ヶ月
3	35	事業所建物が2階建てであり、利用者の居室も3室2階にある。非常災害時や夜間帯は避難誘導が困難な状況が考えられる。避難の仕方や避難場所について、職員一人でも可能な方法について今一度確認が必要である。	2階居住利用者の日中及び夜間帯の避難誘導が安全に行える。	・特に夜間帯の誘導方法について、避難誘導可能な具体的方法を消防から教わり身につける。 ・避難場所の確認をする。 ・感染対策に配慮しながら地域の人と共に避難訓練を実施していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。